

2025年度普及啓発事業（その他事業）について

1 コミュニケーション支援アプリの運用・周知活動

（1）運用内容

「避難所」における表示項目を追加予定。

【私（障害のある方）から伝えたいこと】

- ・「〇〇が欲しい」という項目のバリエーションとして、筆談ボード、補聴器の電池、つえ、車椅子を追加。
- ・「したいこと・してほしいこと」という項目のバリエーションとして、貼り紙で情報提供してほしい、音声で情報提供してほしい、筆談してほしいの項目を追加。
- ・「しりたいこと」という項目のバリエーションとして、字幕付きテレビはありますか、ラジオはありますか、手話通訳者はいますか、W i F iは使えますか、同じ障害の方はいますかを追加。
- ・「伝えたいこと」という項目のバリエーションとして、「居住スペース」を追加。さらにその選択肢として「通路側」、「掲示板の近く」、「壁際」、「静かなところ」、「車椅子のおける場所」を追加。

（2）周知活動

- ・県の行事、研修におけるチラシの配布
- ・県政お届け講座への応募団体、その他別途希望のあった団体に説明を実施
- ・県、市総合防災訓練における周知活動の実施

2 「避難所における障害のある人へのコミュニケーション方法」についての普及啓発リーフレットの作成及び配布

（1）目的

災害発生時の避難所における障害のある方の情報格差の解消のためのコミュニケーション手段等を記載したリーフレットを作成し、避難所の運営を担う自治会、ボランティア団体などの一般県民を対象とした普及啓発を実施することとする。

（2）主な仕様、記載内容、デザイン（事務局案）

- ・A5 判中綴製本、全8ページ、カラー印刷、音声コード付き
- ・災害発生時の避難所における聴覚障害、視覚障害、盲ろう、知的障害、発達障害、肢体不自由、ALSの各障害種別の困り事とその配慮方法について記載
- ・避難所で有用な手話の紹介
- ・必要に応じてイラストを挿入

（3）作成数

- ・2000部（予定）
- ・愛知県のWebサイト上でも電子データで公開予定

（4）配布先（予定）

- ・県内54市町村福祉部局及び防災部局
- ・県内市町村社会福祉協議会